

麻生区区民会議 第5回企画部会 議事要旨

1 開催日時：平成25年1月7日（月）午後7時00分～午後9時00分

2 開催場所：麻生区役所第4会議室

3 出席者：[企画部会委員]

金光部会長、田中副部会長、石井委員、菅原委員、村主委員、東川委員
高倉委員（※オブザーバー）

[事務局]

安生企画課長、白石担当係長、藤江

4 傍聴者 0名

5 議 事

※ 「里山ボランティア事業」について

【説明事項】 第3期区民会議委員の天野氏、勝田氏より、資料6をもとに里山ボランティア事業への麻生区区民会議の協力依頼について説明があった。

【決定事項】

- ・区民会議の協力とは、区民会議ニュースや区民会議フォーラムなどの機会に紹介する他、ボランティア募集のチラシ等を会議で配布し、委員が各団体や町会に持ち帰り周知すること、などが想定される。第3回全体会で改めて説明してもらい承認が得られれば、協力していく。
- ・この事業が第3期区民会議の提言を踏まえて取り組まれていることを明確にするよう求める。（チラシに記載する）

【主な意見】

- ・チラシに区民会議協力を掲載することは区民会議の認知度向上にも繋がる。
- ・区民会議の提言から具体化した事業であり第4期としても協力をしながら提言を行う際の参考にしていきたい。
- ・チラシの配布以外にもフォーラムでのPRコーナーの提供や報告書に掲載するなど協力の方法はある。
- ・区民会議の関わり方の表現として「協力」が適しているのかいささか疑問があり、「賛同」などの方がよいかもしれない。

(1) 広報・広聴活動について

地域メディアへの広報活動

【決定事項】

- ・「審議テーマごとに部会を設置して審議を開始していること」と「区ホームページでの開催案内」について、原稿に追加する。
- ・「メディアあさお」2月号の原稿（資料1）は、事務局で修正しメディアに送付。

各委員へ事後報告する。

(2) 専門部会の検討経過報告について

1) 安全安心のまちづくり部会

【説明事項】村主部会長より、資料2をもとに部会経過報告。主な内容は以下のとおり。

・「大地震から助かる命を守る」ための具体的検討シートに関して、各委員から寄せられた意見を整理したものを基に審議の方向性に関する協議を行った。しかし、部会として審議するテーマを絞り込むまでには至らなかったため、各委員から重点的に審議したい項目を1月4日までに提出してもらうこととなった。

・また、11月13日開催の勉強会での質問事項への回答として、事務局から「川崎市地震被害想定調査報告書（平成23年3月）」の火災被害に関しての抜粋資料を用いた説明があった。

【主な意見】

・麻生区の消防車は7台あるが、大震災が起きた時には火災の同時発生やインフラ断絶によって行き届かないことが想定されるため、実質的には住民の自助・共助での初期消火が重要である。出火率を下げるために住民レベルでも取り組めることを提言してほしい。

・「自助・共助・公助」という区分ではコーポレートシティズン（事業所・病院・学校等）がカバーされてこないため、その欄を追加した。

・震災対策すべきことはたくさんあるが、「死者を出さないためにすること」に絞りこんで審議を進めていく。

・マトリクス形式で記入して検討する手法は、部会での検討状況がわかりやすいので優れていると思う。

・区民の関心の高いテーマなので、是非、検討成果をメディアを通じてPRしてほしい。

2) 若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会

【説明事項】石井部会長より、資料3、4をもとに部会経過報告。主な内容は以下のとおり。

・審議テーマは、1.「子育てしやすい環境づくり」と2.「芸術・文化のまちづくり」

・1.「子育てしやすい環境づくり」に関しては、まず目的と対象を明確にすることが議論され、焦点は子育て世代（20代～40代）を中心とし、次回部会で、既存調査データをまとめた結果を審議し、「これを聞きたい」という内容に絞ってアンケートすることとした。

・2.「芸術・文化のまちづくり」では、新百合ヶ丘地域活性化ビジョン策定委員会が実施した、新百合ヶ丘駅周辺での芸術のまちづくりに関するアンケート調査結果の概要報告を行った。次回の部会では、同報告書の中で掲載されている「課題」部分について審議することとした。

【主な意見】

- ・幼児について行政の取り組みが充実しているとあるが、知人の保育士の話しでは十分でないと聞いておりもっと取り組むべきこともあるのでは。
→川崎市統計書（平成23年版）による保育所の概況調査結果によると、麻生地区における公営保育所の待機児童数は市内でも少ない方で、行政としては取り組みは充実している結果がでています。しかし、今後は現地での聞き取り調査等の実施も検討し、状況を把握していきたい。
- ・麻生区のどの地域を対象と考えているのか。
→イメージとしては「新百合ヶ丘」だが、各委員から意見を集めている段階で決定はしていない。知名度のある「新百合ヶ丘」を表に出していった方がわかりやすいのではと考えている。
- ・住みたい人気のまちで上位のまちと比較していくと、足りないもの、課題が見えてくるのでは。子育てしやすいまちは都会より田舎が人気の傾向。
- ・魅力あるまちとは何を指すのか。外からあこがれるようなまちなのか、住んでみて味わいがあるよいまちなのか。
- ・アンケートは仮説があって、それを証明するためのアプローチとしたほうがよい。何らかの仮説をもっておくべき。
→現在、子育て世代（20代～40代）を対象とし、仮説として教育の質などを含めた事項を検討し、仮説の検証と提言内容に向けた検討フローの全体像を念頭において進めていきます。

3) 第3回全体会議の各部会の報告資料について

【説明事項】事務局より、資料5スケジュール等について説明。

【決定事項】

- ・スケジュール（資料5）は各部会に持ち帰り、来年6月の最終提言に向けた議論の進め方を検討した上で、可能な限りステップ2～4を埋めてもらい、2月の全体会資料とする。
- ・審議経過の報告資料は、若者が住みたくなるまちづくり部会のフロー図（資料4）をベースとし、安全・安心のまちづくり部会も同様に統一した形式で作成する。様式を事務局から提供し中身は各部会で検討する。

(3) その他

1) 区民会議に届いた意見（メール）について

【説明事項】事務局よりメールの内容について報告。また、参考1により川崎市地区まちづくり育成条例について説明。

2) 区民会議各部会への意見書（FAX）について

【決定事項】各部会に持ち帰り、次回部会の資料として配布する。

3) 次回企画部会について

日時：2月4日（月）19時～

場所：区役所第4会議室

議題：第3回区民会議について など

以上